





## 東北に流入する資本の動向

### 東北各都市の振興政策と日系企業等の進出動向

**1. 遼寧省瀋陽市**

**沿革**

設備機械製造業を中心に発展＝全国でも主要な重工業基地

- i. 沿海地区を拠点とした経済開発と市場化の進展
- ii. 国有企業の偏在  
⇒典型的な「旧工業基地」への転落

「瀋陽旧工業基地振興計画綱要」(2010年までのマスタープラン)  
5大産業を重点として工業地帯のレベルアップを図る

① 自動車産業

瀋陽における広範な生産体系

目標 マイクロバス、高級乗用車、ガソリンエンジンなどの主力生産基地形成

日系企業 瀋陽瀋飛日野汽車製造有限公司(2000年11月設立)  
瀋陽飛機工業・シンガポール等との合併  
RU・RMシリーズ5種類のバスを現地で生産

ERINA Economic Research Institute for Northeast Asia

瀋陽航天三菱汽車發動機製造有限公司(SAME) (1997年設立)  
瀋陽建華汽車發動機、マレーシアとの合併  
「三菱自動車再生計画」によるアジアのエンジン生産拠点

② 設備機械製造業  
重点はNC旋盤、送变电設備、石油化学・冶金鋁産設備、エネルギー環境保護型設備、医療設備、ロボット・自動化プラント等  
日系企業 東芝電梯(瀋陽)有限公司(1995年設立、独資)  
2005年4月に新工場を瀋陽市渾南新区に建設  
瀋陽北恒日立銅材有限公司(2005年設立)  
中国高速旅客鉄道への部材供給

③ 電子情報産業  
ニューソフト(東軟)、長白、LG、三宝等の企業を重点的育成。  
日系企業 東軟集团有限公司(1998年設立)  
東北大学による大学ベンチャー。アルパイン、東芝が参加。  
大連ソフトウェアパークに積極的に関与。

④ 化工医薬産業  
石油化学工業、塩素アルカリ化学工業、ファインケミカル、特種ゴム製品等重点。  
日系企業 アステラス製薬(中国)有限公司(1994年設立)

⑤ 農産品加工業  
穀物加工、畜牧製品加工、林産品加工、鮮度管理・貯蔵・加工産業など、農業産業化、農村の都市化を図る。  
日系企業 瀋陽新洋高粱合板有限公司が(1996年設立:光洋産業ほか合併)  
高粱茎の加工成型、合板製造

⑥ その他  
民用航空産業、冶金・非鉄金属産業、新素材産業、軽工業などの発展を強化



## 東北に流入する資本の動向

### 2. 遼寧省大連市

#### 沿革

中国東北部最大の港湾都市⇒沿海港湾14開放都市の一つ

日本からの資本導入の重要拠点

日系企業の進出 2005年末累計で3,184件(全投資件数の28.6%)

(国別第1位) 71億3,270万ドル(全投資総額の35.6%)

大連港 海上輸送貨物に関しては全東北部の70%以上を取り扱う

外資誘致 経済技術開発区、観光リゾート区、保税區、輸出加工区、  
高技術産業園区、国家ソフトウェア産業基地等全国屈指のインフラ

産業基盤 石油精製加工、デジタル受像機、機関車、旋盤、軸受、ディーゼル、  
石化関連設備、大型起重設備など 全国トップレベル

造船業 全国シェア1/3

#### ① 産業政策重点

「大連市旧工業基地振興計画綱要」=「グレーター大連」戦略

数値目標 2010年GDP3,420億元、一人当たりGDP7,000ドル

発展構想 「(体制とメカニズムにおける)2つの新機軸」

「(北東アジアの重要な国際海運センターとしての)1つの中心」

「(基幹産業の)4つの基地」

ERINA Economic Research Institute for Northeast Asia

#### ② 船舶製造業

大型タンカー、第5世代コンテナ船、FPSOなど付加価値の高い船舶生産を重点

2010年造船能力 船舶生産関連工業パークの建設など推進

日系企業 大連大立鋼製品有限公司(1994年設立:大連船舶重工・日立造船)

大連船舶重工集団=中国最大級の大型船舶輸出基地

#### ③ 石油化学工業

国内最大級の製油生産基地(2006年原油加工能力 3,000万トン)

石化工業パーク(中国石油;甜水套地区)、海青島石化工業区、ファインケミカル企業集積化工区などの建設を推進

日系企業 三菱レイヨン、アーク、岩谷産業、栗田工業、本庄ケミカル、住友化学など

#### ④ 電子情報・ソフトウェア・設備機械産業

デジタル視聴設備、車載(船舶)用電子、移動体通信など7部門のレベルアップ

日系企業 大連東芝電視有限公司(1996年設立:大頭集団との合併)

テレビ生産における重要拠点、液晶、プラズマ、プロジェクションなど  
生産、ブラウン管テレビからの脱皮を図る

ERINA Economic Research Institute for Northeast Asia

大連アルプス電子有限公司(1993年設立:大顕集団との合併)  
大連アルパイン電子有限公司(1994年設立:同上)  
大連佳思騰軟件有限公司(2002年設立:ジャストシステム・大連理工  
大学) 産学連携、多言語環境に適応したソフト製品化

⑤ 服飾産業

大楊創世国際服装工業パーク、大連国際服装服飾工業パーク等の規模拡大  
日系企業 イトキン=製造から販売まで「現地密着化」戦略の推進。  
大連糸金時装飾有限公司(92年操業)  
大連伊都錦時装センター有限公司(94年開業)  
大連伊都錦ファッションプラザ(2003年開業) 国内生産、販売拠点形成

⑥ 家具製造業

華豊家具工業パークの整備など  
日系企業 野田家具(大連)有限公司(2000年設立)  
大連市(中山区昆明街)にND style.ショップを開店

ERINA Economic Research Institute for Northeast Asia

⑦ 農産品加工・食品飲料産業

北良等大型穀物埠頭の利用、穀物・食用油加工基地建設  
無農薬・有機など安全・健康な食品産業への取り組み  
日系企業 大連日清製油有限公司(1988年設立)、台湾、上海に先駆け進出。  
大豆サラダ油、精製油、大豆ミールを生産。大連北良港で第二工場  
を建設、稼働。

⑧ その他

金融保険業の振興(商品先物取引、商業銀行改革、外資系金融機関誘致等)  
中山広場金融区の完成、星海湾金融ビジネス区の施設整備  
東北地区の国際物流センターとしての機能向上、観光コンベンション業の推進



## 東北に流入する資本の動向

### 3. 吉林省長春市

#### 沿革

第1次5カ年計画期(1953年～1957年) 第一汽車など大型製造業、軍需企業が設立、重工業の割合が7割を占める工業都市に変貌。  
改革開放以後 自動車、農産品加工、オプトエレクトロニクス、バイオ・医薬などの重点産業が年平均で約20%の速度で発展。

#### ① 自動車産業

「長春旧工業基地振興計画綱要」⇒自動車・鉄道客車製造産業の振興重視

長春での自動車生産台数 年間約50万台

2010年 120万台(デトロイト、トリノ、豊田市に迫る自動車生産都市を目指す)

中国第一汽車(自動車)集団公司(旧名:第一汽車製造廠)

1953年7月設立 フォルクスワーゲンとの合併(1991年)、年産15万台に

2002年 天津汽車工業集団との合併、トヨタ自動車との包括提携

グループ企業は全国14省・市・自治区の19都市に分布、資産総額 1,058億元

トヨタ自動車とのアライアンス

一汽豊田(長春)発動機有限公司(FTCE) V6エンジン製造

四川一汽豊田汽車有限公司(SFTM)長春豊越公司 LC、プリウス生産

一汽轎車股份有限公司 マツダ6(アテンザ)を受託生産

日系企業 一汽光洋転向装置(光洋精工) ステアリングシステム

一汽東機工減振器(日立グループ) ショックアブソーバー

一汽傑克賽爾汽車空調(ボッシュグループ) 車両用空調機器

#### ② 農産品加工業

世界三大トウモロコシ生産地帯の一つ

穀物製品量、輸出高、一人当たり使用量等とも10年連続で全国首位

長春大成集団(1996年設立) トウモロコシによる石油代替アルコール生産

年間生産能力300万トン アジア最大規模の有機系石油代替資源生産基地

長春大成日研糖醇開発有限公司(2004年6月設立:三井物産・日研化成)

ソルビトール(ビタミンC原料、歯磨き粉向けなど)を中国市場向けに生産



- ③ オプトエレクトロニクス産業  
年率30%の成長産業 関連研究施設、高等教育機関を集積  
産業基盤の形成(民生から軍需まで)
- ④ バイオ・医薬産業  
長白山系の漢方薬生産地⇒バイオ・医薬産業の発展に有利  
長春生物製品研究所、吉林大学、省中医中薬研究院などの研究機関  
各種薬剤における全国シェア首位  
吉林信成薬業有限公司(福田龍:大阪) 生薬の安定確保のため合併  
集荷基地として選別・加工など→日本、韓国等に輸出、取扱数 100余種類



## 東北に流入する資本の動向

### 4. 黒龍江省ハルビン市

#### 沿革

- 第1次5カ年計画期(1953年～1957年) 「南廠北遷」政策、機電工業が発展  
ボイラー、タービン、発電機による「3大動力」、「10大軍需工業」など
- 60年代 工業総生産額において瀋陽に次いで5位にランク
- 80年代 「東北現象」で市の工業全体が衰退状況に
- 90年代 第8次5カ年計画 中央政府支援を受け、産業育成を推進  
経済再生に向けて改革を進行中

#### 産業政策重点

- 「哈爾濱市旧工業基地調整改造総体計画」  
発電プラント設備、自動車、飛行機の製造基地形成を重点目標に

#### ① 自動車製造工業

- 軽自動車、エコノミーカー、高級車など4種類の自動車・エンジン生産力強化
- 日系企業 ハルビン東安汽車発動機製造有限公司(1998年設立)  
三菱自動車・三菱商事と中国・マレーシアとの合併企業、エンジン等生産
- 中国側 ハルビン哈飛汽車工業集団  
哈飛汽車、東安汽車動力、東安機電を傘下に収める東北地区屈指の  
自動車メーカー、飛行機分野でも地方路線用ジェット旅客機など開発

② 製造業・ハイテク産業

溶接技術、製品、人材育成、工程請負等のフルセット対応が可能な基地建設  
ハイテク産業 電子情報、新素材、オプトエレクトロニクス、バイオテクノロジー、  
近代的農業等複数のクラスター形勢を目指す  
重点対象 新エネルギー、新型ヘリコプター、セファロスポリン原料、  
抗ウイルス、腫瘍治療薬、高性能マグネリウム材料、  
高性能複合材料など

日系企業 哈爾濱川田工程技術咨询有限公司(1996年設立)  
建設業全般ソフトウェアシステムの開発等

③ 食品・医薬産業

無農薬食品の振興、乳製品加工、穀物加工、ビール、たばこ、肉類製品の発展を重点。国内最大の乳製品生産基地、穀物加工の地域ブランド育成、  
ビール製造業の規模拡大

日系企業 ハルビン森永乳品有限公司(1994年設立)  
森永乳業の連結子会社。各種粉ミルクを生産  
東北三省、北京、天津、上海等南方を含む多くの大都市で販売  
ハルビン製薬集団の提携、再編を促進、健康保健食品、バイオ製薬、動物ワ  
クチンなどの製品生産基地形成を目指す

ERINA Economic Research Institute for Northeast Asia

④ エネルギー産業

黒龍江省=中国屈指の石炭生産基地

日系企業 黒龍江省龍煤鉍業集團有限責任公司(龍煤)←伊藤忠商事の出資  
同集團は省4大国有石炭企業(鶴岡、双鴨山、七台河、雞西)が  
資本再編

石炭生産、石炭洗鉍加工、2次加工及び販売、電力生産、炭鉍専用  
鉄道輸送経営、炭鉍用機械設備製造等を手掛ける。

グループ関係産地の石炭埋蔵量 約171億トン(省全体の76%)

伊藤忠商事における石炭資源長期安定確保に向けた戦略の一環、  
中国の大型石炭生産企業に対する日系企業による初投資





## 東北に流入する資本の動向

### 5. 南資北上の状況「南資北上」と「新東北人」

南方資本(内資・外資)の北上化＝南資北上

新東北人＝南方等の外来移民(企業家等)を主体に構成、地域社会との融合

### 6. 発展に向けた提言～東北振興のポテンシャル

- ① 東北振興政策の意図＝同地区産業の潜在能力開発  
厚い産業基盤、豊富な天然資源、エネルギー、科学技術等
- ② 近隣諸国との近接性・産業振興政策  
日本、韓国、北朝鮮、ロシア(北東アジア経済圏の中心⇒交流の坩堝)  
東北振興政策(中国)  
北東アジアビジネスハブ構想(韓国)  
極東開発推進(ロシア) ⇒経済貿易投資発展のための環境醸成
- ③ 日中交流新時代とも言えるマインドの変化  
「政冷経熱」の脱皮、歴史を教訓に、「まず東北から」を戦略的にアピール  
※政府機関、地方自治体、産業団体、NPO、大学・研究機関、市民レベル

ERINA Economic Research Institute for Northeast Asia

## 東北に流入する資本の動向

### ④ 東北資本とのアライアンス

合併合作独資からウィンウィンの関係に基づく業務提携

「走出去」戦略で対外進出を望む中国企業からの対日投資

⇒実力ある企業との協力を展開する時代へ

高速道路、港湾空港、都市建設、工業団地などの急速な発展

(大連北東アジア国際航路センターの建設など)

穀物、農作物、畜産品等による食品加工産業、バイオ産業など

企業グローバル戦略の中で、東北部の情報収集・関係構築を。



